

第3 救急

第1章

救急業務の概要

1 救急業務体制

(1) 救急隊

令和6年3月31日現在、24隊の救急隊で救急業務を遂行している。

(2) 救急隊員

令和6年3月31日現在、実働の救急隊員数は381人（うち女性職員は14人、消防航空隊員7人）であり、うち救急救命士の資格を有する救急隊員数は140人（うち女性職員は10人、消防航空隊員1人）である。

(3) 救急自動車

令和6年3月31日現在、救急自動車の保有数は、非常用を含め中消防署管内に6台、東消防署管内に4台、西消防署管内に5台、南消防署管内に4台、北消防署管内に4台、浜北消防署管内に2台、天竜消防署管内に5台、計30台となっている。（別表1参照）

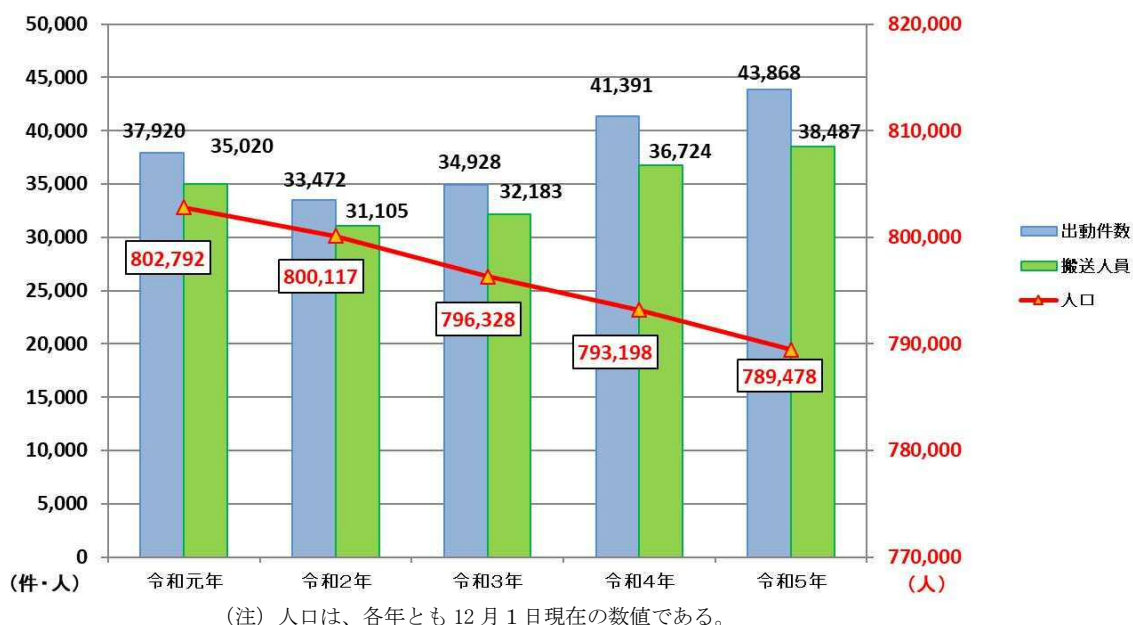
2 救急自動車による救急概要

(1) 救急出動件数等と推移

令和5年中の救急自動車による救急出動件数は、4万3,868件（前年比2,477件増、6.0%増）、搬送人員は3万8,487人（前年比1,763人増、4.8%増）である。1日平均120.2件（前年比6.8件増）で、12分に1件（前年12.7分に1件）の割合で救急出動しており、管内人口78万9,478人（令和5年12月1日現在）のうち20.5人に1人（前年21.6人に1人）の割合で搬送されたことになる。（第1図、別表2-1、別表2-2参照）

また、救急出動件数及び搬送人員の増加は、急病及び一般負傷による救急出動の増加が影響したものと考えられる。

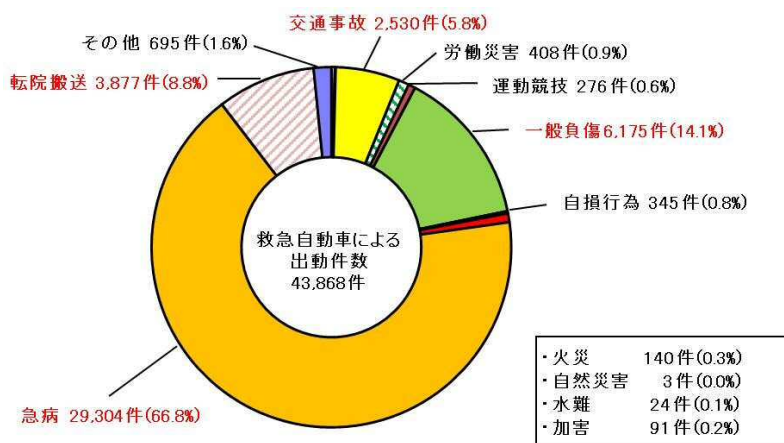
第1図 過去5年間の人口推移及び救急自動車による救急出動件数・搬送人員の推移



(2) 事故種別の救急出動件数と推移

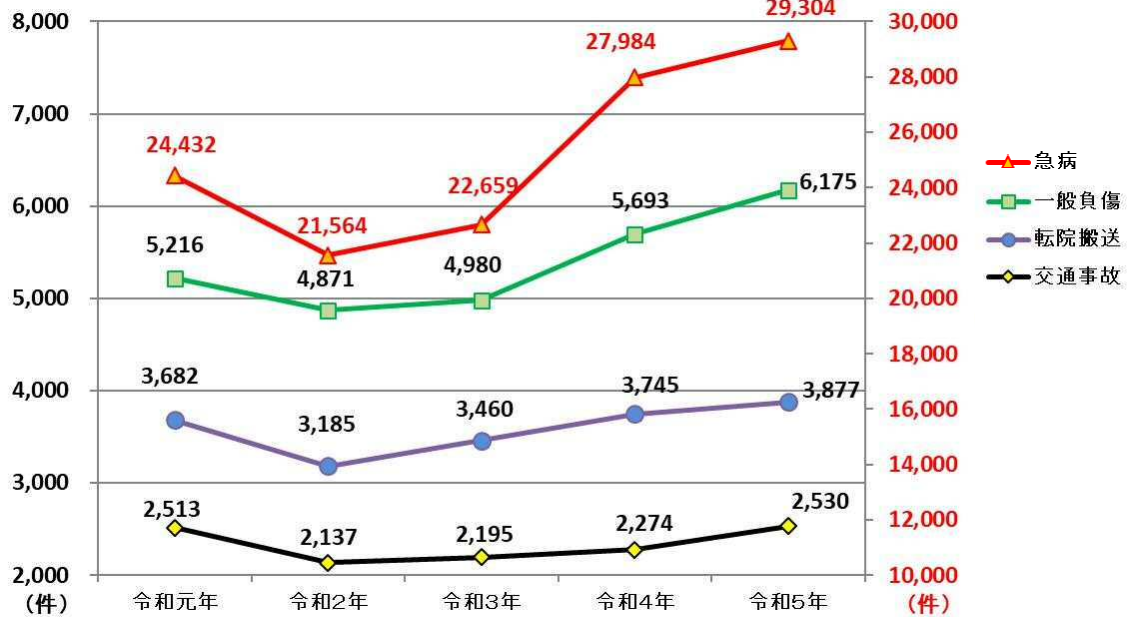
令和5年中の救急自動車による救急出動件数4万3,868件のうち、事故種別で最も多いのは急病2万9,304件(前年比1,320件増、4.7%増)、2番目に一般負傷6,175件(前年比482件増、8.5%増)、3番目に転院搬送3,877件(前年比132件増、3.5%増)、4番目に交通事故2,530件(前年比256件増、11.3%増)であり、この4つの事故種別を合わせると救急出動件数の全体の95.5%を占めている。(第2図、第3図参照)

第2図 救急自動車による出動件数(事故種別)



(注) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第3図 過去5年間の救急自動車による救急出動件数（事故種別）の推移

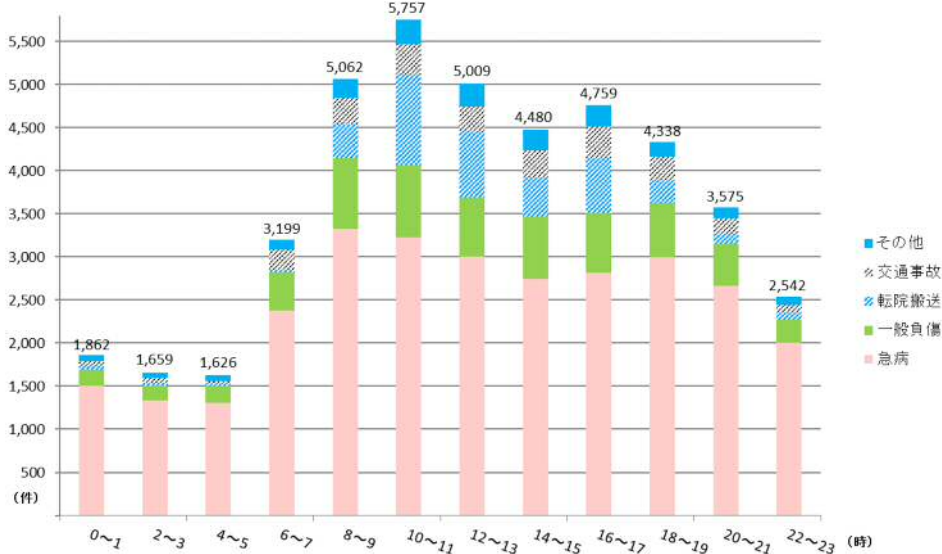


(3) 救急要請を覚知した月別、曜日別、時刻別の救急出動件数

令和5年中の救急自動車による救急出動件数を、覚知時刻別で見ると最も多いのは10時から11時(5,757件)となっており、最も少ないのは4時から5時(1,626件)となっている。(第4図参照)

覚知した月別の事故種別でみると、急病は8月、一般負傷及び転院搬送は12月、交通事故は10月が多い傾向となっている。また、覚知した曜日別の救急出動件数をみると、急病及び一般負傷は日曜日、転院搬送は月曜日、交通事故は金曜日が多い傾向となっている。(第1表参照)

第4図 事故種別及び覚知時刻別の救急出動件数



第1表 救急要請を入電した月別及び曜日別の救急出動件数（事故種別）

区分 月 曜日	急病		一般負傷		転院搬送		交通事故		その他 (左以外)		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1月	2,941	10.0%	581	9.4%	348	9.0%	201	7.9%	132	6.7%	4,203	9.6%
2月	2,205	7.5%	472	7.6%	319	8.2%	165	6.5%	131	6.6%	3,292	7.5%
3月	2,183	7.4%	495	8.0%	323	8.3%	211	8.3%	151	7.6%	3,363	7.7%
4月	2,042	7.0%	463	7.5%	309	8.0%	184	7.3%	168	8.5%	3,166	7.2%
5月	2,186	7.5%	465	7.5%	320	8.3%	193	7.6%	191	9.6%	3,355	7.6%
6月	2,217	7.6%	477	7.7%	322	8.3%	215	8.5%	184	9.3%	3,415	7.8%
7月	2,759	9.4%	497	8.0%	310	8.0%	220	8.7%	225	11.4%	4,011	9.1%
8月	2,996	10.2%	543	8.8%	304	7.8%	215	8.5%	228	11.5%	4,286	9.8%
9月	2,561	8.7%	449	7.3%	303	7.8%	212	8.4%	168	8.5%	3,693	8.4%
10月	2,306	7.9%	556	9.0%	330	8.5%	270	10.7%	149	7.5%	3,611	8.2%
11月	2,180	7.4%	553	9.0%	316	8.2%	219	8.7%	125	6.3%	3,393	7.7%
12月	2,728	9.3%	624	10.1%	373	9.6%	225	8.9%	130	6.6%	4,080	9.3%
合計	29,304		6,175		3,877		2,530		1,982		43,868	
月曜	4,352	14.9%	851	13.8%	790	20.4%	362	14.3%	270	13.6%	6,625	15.1%
火曜	4,110	14.0%	839	13.6%	645	16.6%	364	14.4%	304	15.3%	6,262	14.3%
水曜	4,092	14.0%	817	13.2%	536	13.8%	359	14.2%	246	12.4%	6,050	13.8%
木曜	3,956	13.5%	869	14.1%	614	15.8%	356	14.1%	266	13.4%	6,061	13.8%
金曜	4,049	13.8%	839	13.6%	692	17.8%	403	15.9%	282	14.2%	6,265	14.3%
土曜	4,229	14.4%	954	15.4%	406	10.5%	401	15.8%	329	16.6%	6,319	14.4%
日曜	4,516	15.4%	1,006	16.3%	194	5.0%	285	11.3%	285	14.4%	6,286	14.3%

(単位:件)

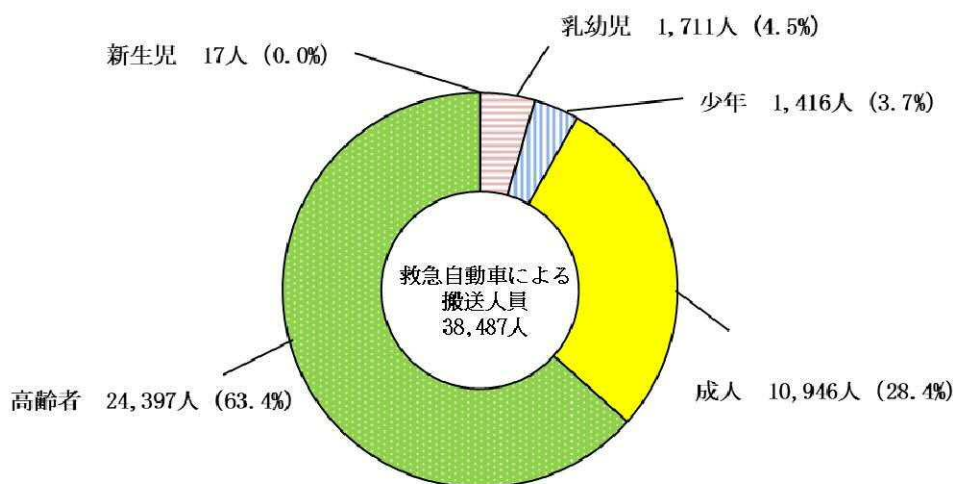
(4) 年齢区別の救急搬送人員と性別での比較

令和5年中の救急自動車による搬送人員3万8,487人のうち、年齢区分でみると、高齢者（満65歳以上の者）2万4,397人（前年比1,340人増、5.8%増）、成人（満18歳以上満65歳未満の者）10,946人（前年比183人増、1.7%増）、少年（満7歳以上満18歳未満の者）1,416人（前年比216人増、18.0%増）、乳幼児（生後28日以上満7歳未満の者）1,711人（前年比30人増、1.8%増）、新生児（生後28日未満の者）17人（前年比6人減、26.1%減）である。（第5図参照）

年齢を10歳区切りで見ると、最も多いのが80歳から89歳までの10,267人であり、次に70歳から79歳までの7,388人であり、70歳から89歳までの1万7,655人が年齢区分の高齢者の中の72.4%を占めている。

男女別で見ると、男性は2万222人（前年比1,058人増）で52.5%、女性は1万8,265人（前年比2,662人増）で47.5%であり、男性が多い傾向になっている。さらに年齢ごとに搬送人員を見ると、0歳から79歳以下は男性が多く、80歳以上は女性が多い傾向になっている。（第6図参照）

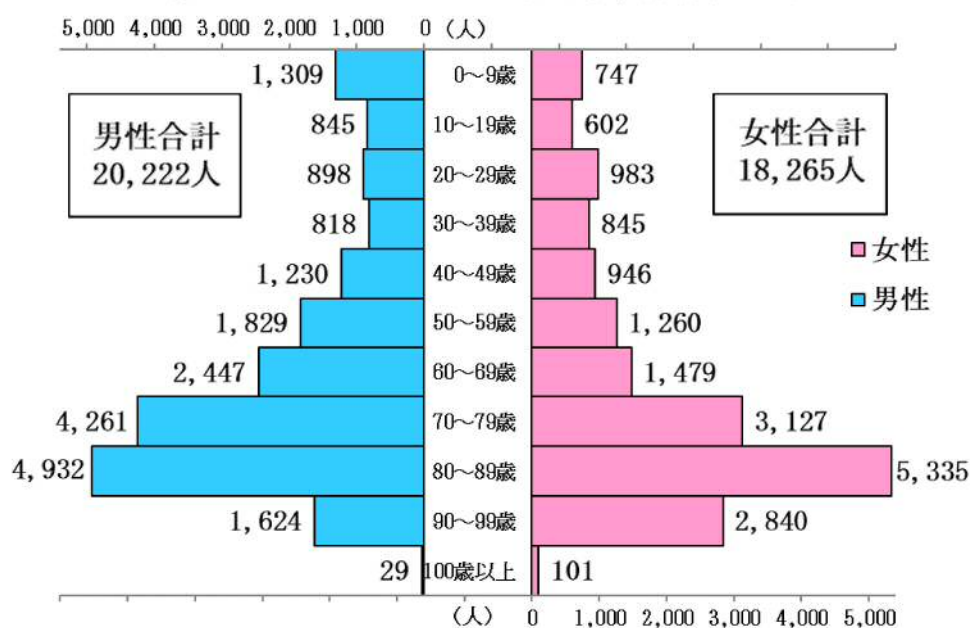
第5図 救急自動車による搬送人員（年齢区分）



(注1) 年齢区分は、次のとおり

- ・新生児 生後28日未満の者
- ・乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- ・少年 満7歳以上満18歳未満の者
- ・成人 満18歳以上満65歳未満の者
- ・高齢者 満65歳以上の者

第6図 救急自動車による搬送人員（年齢、性別）



(5) 傷病程度別・年齢区分別の搬送人員

令和5年中の救急自動車による搬送人員を傷病程度別で見ると、軽症1万7,849人（前年比1,554人増、9.5%増）、中等症1万8,385人（前年比281人増、1.6%増）、重症1,660人（前年比53人減、3.1%減）、死亡593人（前年比19人減、3.1%減）である。

傷病程度を年齢区分別で見ると、新生児及び高齢者は中等症、乳幼児、少年及び成人は軽症の割合が高くなっている。（第2表、別表3参照）

第2表 傷病程度別・年齢区分別の搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡	0 (0.0%)	2 (0.1%)	1 (0.1%)	104 (1.0%)	486 (2.0%)	593 (1.5%)
重症 (長期入院)	2 (11.8%)	8 (0.5%)	17 (1.2%)	388 (3.5%)	1,245 (5.1%)	1,660 (4.3%)
中等症 (入院診療)	9 (52.9%)	376 (22.0%)	273 (19.3%)	3,629 (33.2%)	14,098 (57.8%)	18,385 (47.8%)
軽症 (外来診療)	6 (35.3%)	1,325 (77.4%)	1,125 (79.4%)	6,825 (62.4%)	8,568 (35.1%)	17,849 (46.4%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	17	1,711	1,416	10,946	24,397	38,487

(単位：人)

(注1) () 内は、年齢区分ごとの構成比を示す。

(注2) 傷病程度とは、救急隊が傷病者を医療機関に搬送し、初診時における医師の診断により、次の5種類に分類をしている。

- (1) 死亡 初診時において死亡が確認されたものをいう。
- (2) 重症（長期入院） 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
- (3) 中等症（入院診療） 傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。
- (4) 軽症（外来診療） 傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- (5) その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要性はないが、通院による治療が必要なものは軽症として分類をしている。

(注3) 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

(6) 事故種別（急病）の疾病分類と年齢区分

令和5年中の救急自動車による搬送人員3万8,487人の事故種別、年齢区分別、傷病程度別の状況を示したのが別表3である。また、事故種別の急病を疾病分類別で見ると、その他及び症状・徴候・診断名不明確の状態を除くと循環器系疾患が3,436人（13.4%）で最も多く、内訳をみると、脳疾患が1,541人（6.0%）で心疾患等が1,895人（7.4%）であった。2番目が呼吸器系疾患の2,905人（11.3%）で、3番目が消化器系の1,926人（7.5%）となっている。（第3表参照）

第3表 急病の疾病分類別・傷病程度別搬送人員

年齢区分		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
疾病分類							
循環器系	脳疾患	0	2 (0.2%)	1 (0.1%)	274 (3.8%)	1,264 (7.7%)	1,541 (6.0%)
	心疾患等	0	4 (0.3%)	2 (0.3%)	310 (4.3%)	1,579 (9.6%)	1,895 (7.4%)
消化器系		0	26 (2.0%)	28 (3.9%)	578 (8.0%)	1,294 (7.9%)	1,926 (7.5%)
呼吸器系		1 (7.7%)	130 (10.0%)	83 (11.5%)	491 (6.8%)	2,200 (13.4%)	2,905 (11.3%)
精神系		1 (7.7%)	1 (0.1%)	61 (8.5%)	769 (10.6%)	155 (0.9%)	987 (3.8%)
感覚系		0	18 (1.4%)	76 (10.5%)	563 (7.7%)	889 (5.4%)	1,546 (6.0%)
泌尿器系		0	3 (0.2%)	8 (1.1%)	495 (6.8%)	506 (3.1%)	1,012 (3.9%)
新生物		0	1 (0.1%)	2 (0.3%)	95 (1.3%)	392 (2.4%)	490 (1.9%)
その他		5 (38.5%)	92 (7.0%)	117 (16.2%)	1,038 (14.3%)	1,983 (12.1%)	3,235 (12.6%)
症状・徴候・診断名不明確の状態		6 (46.2%)	1,028 (78.8%)	343 (47.6%)	2,653 (36.5%)	6,127 (37.4%)	10,157 (39.5%)
合計		13	1,305	721	7,266	16,389	25,694

(単位：人)

(注) 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

(7) 医療機関等への受入照会回数（傷病程度別）

令和5年中の救急自動車による搬送人員の中で、医療機関への受入照会回数が1回で決定したものは73.2%で、2～3回は19.9%、4回以上は7.0%となっている。（第4表参照）

第4表 傷病程度別の受入照会回数

照会回数	重症以上	割合	中等症	割合	軽症	割合	その他	割合	合計	割合
1回	1,769	78.5%	14,107	76.7%	12,285	68.8%	0	—	28,161	73.2%
2回	247	11.0%	2,045	11.1%	3,007	16.8%	0	—	5,299	13.8%
3回	112	5.0%	992	5.4%	1,236	6.9%	0	—	2,340	6.1%
4回	52	2.3%	455	2.5%	639	3.6%	0	—	1,146	3.0%
5回	34	1.5%	373	2.0%	404	2.3%	0	—	811	2.1%
6回	6	0.3%	65	0.4%	62	0.3%	0	—	133	0.3%
7回	5	0.2%	81	0.4%	68	0.4%	0	—	154	0.4%
8回	8	0.4%	53	0.3%	57	0.3%	0	—	118	0.3%
9回	3	0.1%	71	0.4%	24	0.1%	0	—	98	0.3%
10回以上	17	0.8%	143	0.8%	67	0.4%	0	—	227	0.6%
合計	2,253		18,385		17,849		0		38,487	

（単位：人）

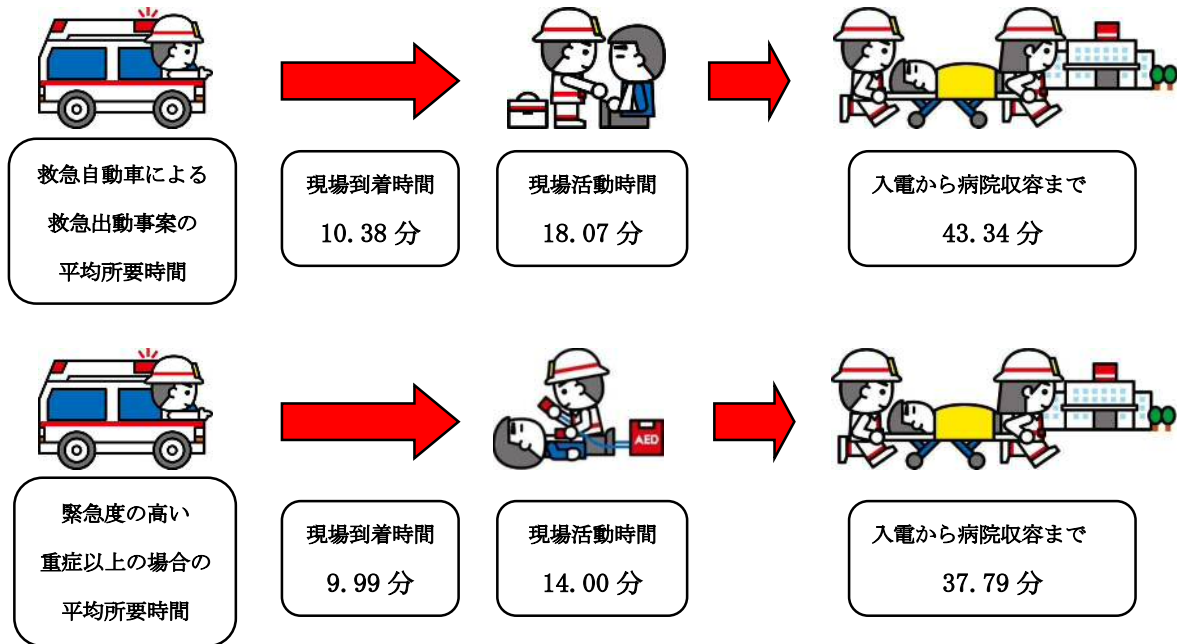
（注1） 医療機関への受入照会回数とは、傷病者の受入れ先医療機関が決定するまでの電話連絡回数をいう

（注2） 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

(8) 救急自動車による1件当たりの所要時間及び距離

令和5年中の救急自動車による救急出動件数を平均所要時間でみると、現場までの平均所要時間（覚知[入電]から現場に到着するまでに要した時間）は、10.38分（前年比0.17分減）、現場までの平均走行距離にあつては、3.13km（前年比0.05km減）、病院収容までの平均所要時間（覚知[入電]から傷病者を収容医療機関の医師に引継ぐまでに要した時間）は43.34分（前年比0.58分増）、その中で緊急度が高い傷病程度が重症（長期入院）以上の場合の病院収容までの平均所要時間は、37.79分（前年比2.23分増）となっている。（第7図、別表4参照）

第7図 救急自動車による救急出動件数の平均所要時間



(9) 日勤救急隊（仮運用期間中）による効果

高まる救急需要に対して、より迅速に対応するため、令和5年度から平日の日中（月曜日～金曜日、午前8時30分から午後5時15分まで）に限定した仮運用を行った効果を以下に示す。

※令和5年4月から令和6年3月までの集計

出動実績		仮運用の効果	
救急件数	854件	① と②の比較	覚知から現場到着までの平均所要時間が1分12秒短縮
搬送件数	769件		
搬送人数	769人	① 日勤救急隊なし	10.4分
1日の平均救急件数	3.82件	② 日勤救急隊あり	9.2分
1日の最高救急件数	7件		

※ 日勤救急隊の出動実績から、関連性が高い8救急隊の「覚知から現場到着までの平均所要時間」を用いて比較。8救急隊は、中・相生・高台・東・西・大平台・南・白脇救急隊。

第2章

応急手当普及啓発講習活動状況及び救急蘇生統計

1 応急手当普及啓発講習活動状況

令和5年中の応急手当普及啓発講習活動状況は、応急救護講習は280回（前年比258回増）開催し、受講者は11,057人（前年比10,645人増）である。救命入門コースの開催は121回（前年比121回増）、受講者は2,214人（前年比2,214人増）である。普通救命講習は374回（前年比232回増）開催し、受講者は5,236人（前年比4,071人増）である。上級救命講習の開催は11回（前年11回増）、受講者は179人（前年比179人増）である。応急手当普及員講習は11回（前年比9回増）、受講者は121人（前年比112人増）である。応急手当普及啓発講習の開催回数の総数は799回（前年比633回増）、受講者の総数は18,832人（前年比17,246人増）となり、管内人口78万9,478人（令和5年12月1日現在）の約42人に1人が受講したことになる。（別表5参照）

2 救急蘇生統計の概要

(1) 救急蘇生統計

我が国では、平成17年1月から全国の消防本部で一斉にウツタイン様式の導入を開始している。本市でもウツタイン様式を基に、集計・分析をしている。この結果、救急救命士が行う救急救命処置の効果等の検証や他都市との比較が客観的データに基づき可能となることから、プレホスピタル・ケアの一層の充実強化を図ることが期待されている。

(2) ウツタイン様式

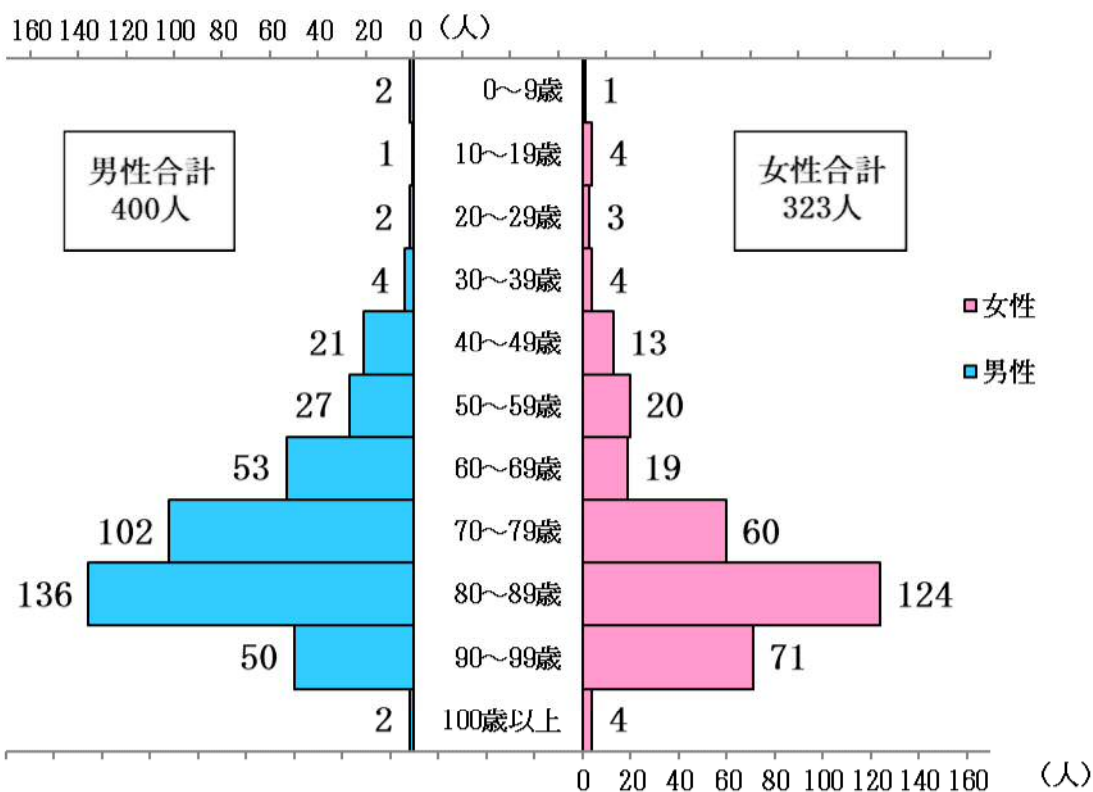
ウツタイン様式とは、心肺機能停止傷病者について地域間・国際間での蘇生率等の統計比較を可能とするために、その原因（心臓に原因があるものかそれ以外か）の分類、心肺機能停止時点の目撃の有無、バイスタンダー（その場に居合わせた人）や救急隊員による心肺蘇生の有無やその開始時刻、除細動の有無などに応じた傷病者の経過記録に関するガイドラインのことを指した様式を言う。

(3) 心肺機能停止傷病者の性別及び年齢区分別の搬送人員

令和5年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者は723人である。男女別の割合で見ると、男性は400人で55.3%、女性は323人で44.7%であり、男性が多い傾向となっている。

年齢を10歳区切りで見ると、最も多いのが80歳から89歳の260人であり、次に70歳から79歳が162人であり、70歳から89歳の422人が全体の58.4%を占めている。（第8図参照）

第8図 救急搬送された心肺機能停止傷病者の性別及び年齢別の搬送人員



(4) ウツタイン様式に基づく分析

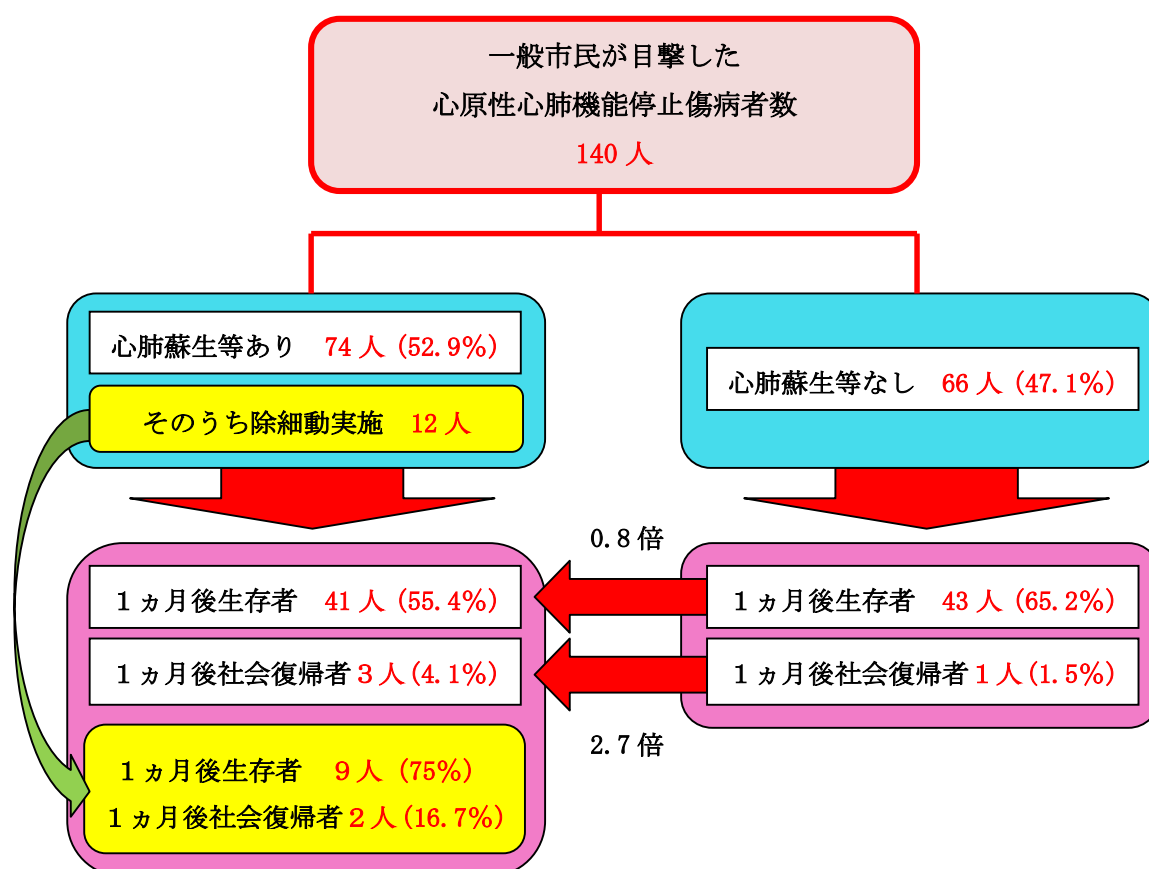
令和5年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者は723人で、心原性心肺機能停止傷病者は530人、非心原性心肺停止傷病者は193人であった。また、救急蘇生統計で重要視されている心原性心肺停止傷病者の目撃あり傷病者(185人)のうち、一般市民による目撃あり傷病者(140人)を分析する。

(5) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生等実施による救命効果

令和5年中に一般市民が目撃した心原性心肺機能停止の傷病者は140人であり、そのうち一般市民が心肺蘇生等（胸骨圧迫等）を実施した傷病者は74人（52.9%）である。そのうち1ヵ月後生存者は41人、1ヵ月後生存率は55.4%であり、心肺蘇生等（胸骨圧迫等）を実施しなかった場合の1ヵ月後生存者は43人、1ヵ月後社会復帰率は65.2%となっている。また、一般市民が心肺蘇生等（胸骨圧迫等）を実施した傷病者のうち、1ヵ月後社会復帰者は3人、1ヵ月後社会復帰率は4.1%であり、心肺蘇生等（胸骨圧迫等）を実施しなかった場合の1ヵ月後社会復帰者は1人、1ヵ月後生存率は1.5%となっている。

さらに、一般市民がAEDを使用し除細動を実施した傷病者は12人、そのうち1ヵ月後生存者は9人、1ヵ月後生存率は75%となっている。また、1ヵ月後社会復帰者は2人、1ヵ月後社会復帰率は16.7%となっている。（第9図参照）

第9図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率



第3章

熱中症について

1 熱中症について

(1) 救急自動車による熱中症（疑い含む）の搬送人員について

令和5年5月1日から9月30日の間（※）の救急自動車による熱中症（疑い含む）の搬送人員は、548人（前年比86人増）である。

※総務省消防庁による救急搬送状況（熱中症）の統計対象期間と同じ。

(2) 傷病程度別・年齢区分別の搬送人員

救急自動車による熱中症（疑い含む）の搬送人員のうち年齢区分別でみると、高齢者（満65歳以上の者）298人（前年比41人増）、成人（満18歳以上満65歳未満の者）186人（前年比29人増）、少年（満7歳以上満18歳未満の者）58人（前年比13人増）、乳幼児（生後28日以上満7歳未満の者）6人（前年比3人増）新生児（生後28日未満の者）0人（前年比増減なし）である。

傷病程度別でみると、軽症374人（前年比59人増）、中等症169人（前年比30人増）、重症以上5人（前年比3人減）、その他0人（前年比増減なし）である。（第5表参照）

第5表 熱中症（疑い含む）による傷病程度別・年齢区分別の搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
重症以上 (長期入院)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	3 (1.0%)	5 (1.0%)
中等症 (入院診療)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (8.6%)	25 (13.4%)	138 (46.3%)	169 (30.8%)
軽症 (外来診療)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	53 (91.4%)	159 (85.5%)	157 (52.7%)	374 (68.2%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	0	6	58	186	298	548

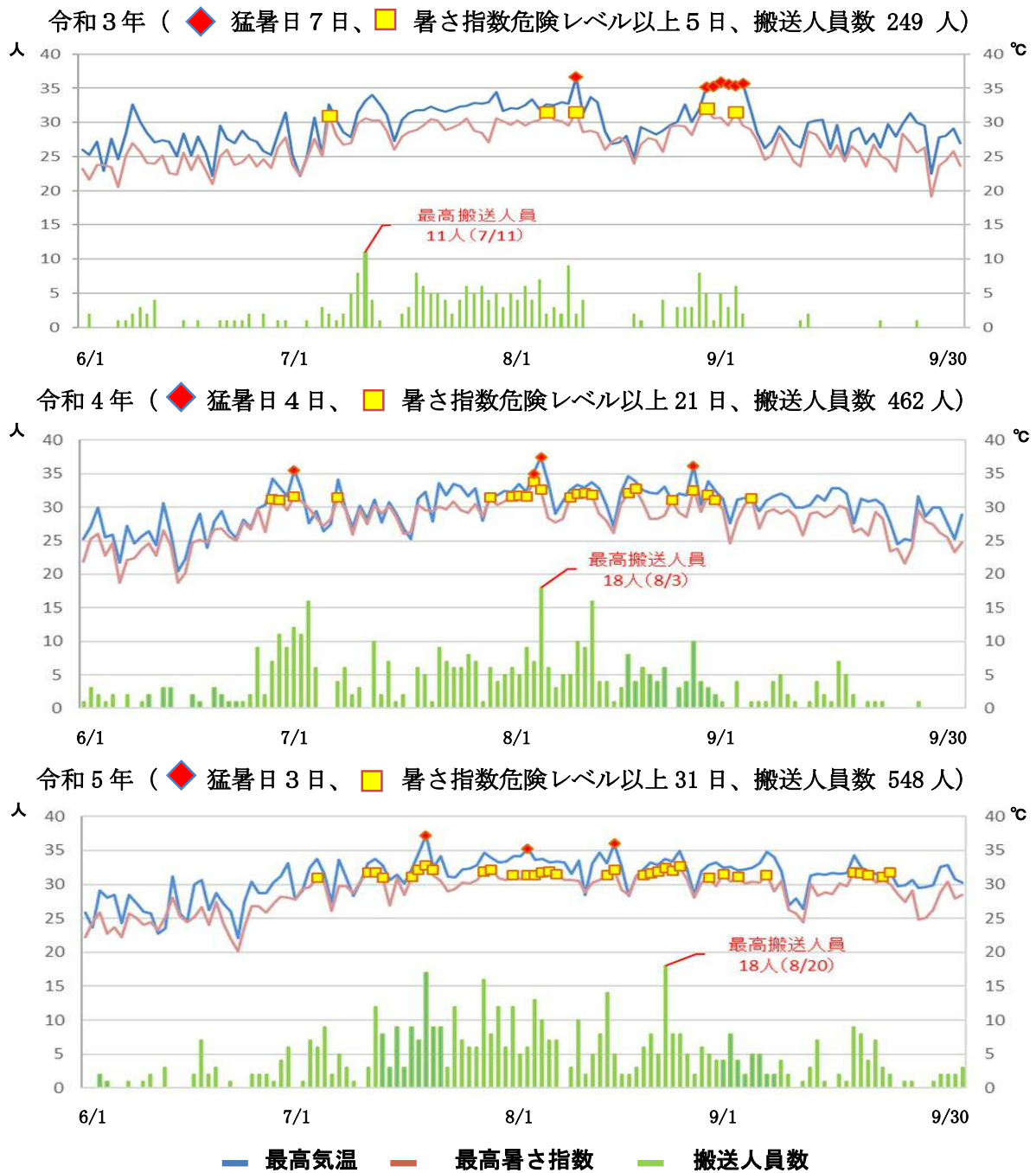
(注1) 内は、年齢区分ごとの構成比を示す。

(単位：人)

(3) 猛暑日及び暑さ指数について

令和5年6月1日から9月30日間の熱中症（疑い含む）による最高気温、暑さ指数をみると、最高気温が猛暑日（35℃以上）となった日が3日間、暑さ指数が31℃以上（危険レベル）となった日が31日間であった。

第10図 過去3年間の熱中症（疑い含む）による搬送人員



(4) 浜松市防災ホットメールによる熱中症予防情報

消防庁が実施している熱中症による搬送人員の調査によると、令和5年は全国 91,467 人（昨年同期間 20,438 人増）が救急搬送されており、本市でも熱中症への対応は極めて重大な課題となっている。したがって、熱中症による傷病者を迅速かつ適切に医療機関に搬送するとともに、保健所及び医療機関と連携した予防啓発活動等を実施することが重要である。

令和5年5月1日から9月30日の間、浜松市防災ホットメール（地域情報）を使用し、登録している市民（約5万4,000人）に対して、熱中症警戒アラート情報を29回（昨年同期間22回増）送信することにより注意喚起を行った。

(注) 熱中症警戒アラートとは

熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に、危険な暑さへの注意を呼びかけ、熱中症予防行動をとるように促すための情報のこと。環境省と気象庁が、熱中症予防対策に資する効果的な情報発信として、令和3年4月下旬から全国を対象に運用を開始したものである。

暑さ指数（WBGT温度（湿球黒球温度））は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標である。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されているが、その値は気温と異なる。

暑さ指数は、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支にあたる影響の大きい①湿度、②日射・輻射などの周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標である。

熱中症警戒アラート
新たに全国展開中!

熱中症警戒アラートは、**熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境**になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。
発表された情報はテレビ、防災無線、SNSを通じて発信されます。

報道機関
(テレビ・ラジオ)

NEWS//
熱中症警戒アラート発表

〇〇県で熱中症警戒アラートが発表されました。
明日は熱中症予防行動を徹底しましょう。

防災無線

SNS

熱中症とは 暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患ですが、下記のような**予防行動**を行えば防ぐことができます。

別表 1

(令和6年3月31日現在)

配置場所	隊名	車名	初年度 登録 年月日	配置 年月日	定員	備考		
						車種	救急隊 運用開始	
中消防署	本署	中救急隊	トヨタ	R4.12.27	R5.2.15	7	高規格	S35.8
	本署	非常用救急6号	トヨタ	H26.3.7	R4.2.7	7	高規格	-
	本署	本部救急隊	トヨタ	H29.2.26	R5.4.1	7	高規格	R5.4
	相生出張所	相生救急隊	トヨタ	R4.12.27	R5.2.15	7	高規格	S40.7
	高台出張所	高台救急隊	トヨタ	R6.1.30	R6.2.20	7	高規格	H4.11
	曳馬野出張所	曳馬野救急隊	トヨタ	R1.12.16	R2.2.12	7	高規格	H5.6
東消防署	本署	東救急隊	トヨタ	R1.12.16	R2.1.27	7	高規格	S44.2
	上石田出張所	上石田救急隊	トヨタ	R4.12.27	R5.3.10	7	高規格	S51.6
	有玉出張所	有玉救急隊	トヨタ	H30.2.23	H30.3.7	7	高規格	H14.9
	有玉出張所	非常用救急5号	トヨタ	H27.12.10	R5.3.10	7	高規格	-
西消防署	本署	西救急隊	トヨタ	R4.1.12	R4.2.7	7	高規格	S47.10
	本署	非常用救急4号	トヨタ	H27.11.5	R4.2.7	7	高規格	-
	庄内出張所	庄内救急隊	トヨタ	H30.2.23	H30.3.10	7	高規格	S53.4
	湖東出張所	湖東救急隊	トヨタ	R1.12.16	R2.1.27	7	高規格	H13.11
	大平台出張所	大平台救急隊	トヨタ	R4.1.12	R4.2.7	7	高規格	H26.4
南消防署	本署	南救急隊	トヨタ	R3.12.22	R4.1.31	7	高規格	S42.8
	本署	非常用救急3号	トヨタ	H27.1.19	R4.1.31	7	高規格	-
	芳川出張所	芳川救急隊	トヨタ	H30.2.13	H30.4.1	7	高規格	H30.4
	白脇出張所	白脇救急隊	トヨタ	H29.2.22	H29.3.10	7	高規格	S56.10
北消防署	本署	北救急隊	トヨタ	H31.1.29	H31.3.8	7	高規格	S47.4
	本署	非常用救急1号	トヨタ	H24.11.26	R2.2.10	7	高規格	-
	三ヶ日出張所	三ヶ日救急隊	トヨタ	H31.1.29	H31.3.8	7	高規格	S47.4
	引佐出張所	引佐救急隊	トヨタ	H30.2.23	H30.3.7	7	高規格	H1.4
消防署 浜北	本署	浜北救急隊	トヨタ	R3.12.22	R4.1.31	7	高規格	S43.4
	赤佐出張所	赤佐救急隊	トヨタ	H31.1.29	H31.3.6	7	高規格	S63.4
天竜消防署	本署	天竜救急隊	トヨタ	R4.12.27	R5.3.10	7	高規格	S43.9
	本署	非常用救急7号	トヨタ	H29.2.22	R6.2.20	7	高規格	-
	春野出張所	春野救急隊	トヨタ	R1.12.16	R2.2.12	7	高規格	H6.10
	佐久間出張所	佐久間救急隊	トヨタ	H25.12.3	H25.12.13	7	高規格	H16.11
	水窪出張所	水窪救急隊	トヨタ	R3.1.26	R3.2.15	7	高規格	H19.3

(注1) ■ は、令和5年度更新車両

(注2) 本部救急隊は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間、仮運用

別表 2-1 救急自動車による5年間の救急出動件数及び救急事故種別構成比

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

事故別		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		出動件数	%	出動件数	%	出動件数	%	出動件数	%	出動件数	%
総計		37,920		33,472		34,928		41,391		43,868	
事故種別	火災	114	0.3%	75	0.2%	124	0.4%	139	0.3%	140	0.3%
	自然災害	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	15	0.0%	3	0.0%
	水難	16	0.0%	9	0.0%	20	0.1%	26	0.1%	24	0.1%
	交通事故	2,513	6.6%	2,137	6.4%	2,195	6.3%	2,274	5.5%	2,530	5.8%
	労働災害	437	1.2%	390	1.2%	382	1.1%	393	0.9%	408	0.9%
	運動競技	249	0.7%	143	0.4%	196	0.6%	201	0.5%	276	0.6%
	一般負傷	5,216	13.8%	4,871	14.6%	4,980	14.3%	5,693	13.8%	6,175	14.1%
	加害	98	0.3%	79	0.2%	78	0.2%	85	0.2%	91	0.2%
	自損行為	279	0.7%	291	0.9%	296	0.8%	308	0.7%	345	0.8%
	急病	24,432	64.4%	21,564	64.4%	22,659	64.9%	27,984	67.6%	29,304	66.8%
	転院搬送	3,682	9.7%	3,185	9.5%	3,460	9.9%	3,745	9.0%	3,877	8.8%
その他	884	2.3%	728	2.2%	537	1.5%	528	1.3%	695	1.6%	
救急隊数		23隊		23隊		23隊		23隊		23隊	
管内人口		802,792		800,117		796,328		793,198		789,478	
1万人当件数		472.4		418.3		438.6		521.8		555.7	
1日平均件数		103.6		91.7		95.7		113.4		120.2	
増加率		100.0%		88.3%		92.1%		109.2%		115.7%	

(注1) 人口は各年12月1日現在とする。

(注2) 増加率は令和元年を基準とする。

(注3) 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

別表 2 - 2 救急自動車による隊別活動状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

活動	隊 別	中 署			東 署			西 署				南 署			小 計
		中	相生	高台	東	上石田	有玉	西	庄内	湖東	大平台	南	白脇	芳川	
計	救急件数	3,515	3,260	3,174	2,442	2,147	3,029	1,829	819	1,815	2,409	3,081	2,036	1,837	31,393
	搬送件数	2,944	2,812	2,790	2,129	1,947	2,610	1,625	714	1,602	2,127	2,645	1,776	1,643	27,364
	搬送人員	2,953	2,823	2,796	2,143	1,961	2,627	1,632	717	1,615	2,136	2,657	1,784	1,649	27,493
火災	救急件数	14	13	8	7	4	10	5	0	7	6	10	9	7	100
	搬送人員	1	3	1	1	2	0	3	0	0	2	0	2	4	19
自然	救急件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
水難	救急件数	1	1	1	2	0	0	1	4	0	1	1	2	2	16
	搬送人員	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	6
交通	救急件数	180	171	170	134	154	207	86	37	106	140	181	124	106	1,796
	搬送人員	163	153	145	127	146	187	83	31	103	129	167	117	97	1,648
労災	救急件数	17	19	20	45	27	31	20	9	22	26	24	20	19	299
	搬送人員	15	19	19	45	26	29	19	9	20	25	23	20	17	286
運動	救急件数	19	15	18	15	6	24	20	11	17	10	13	16	10	194
	搬送人員	19	16	19	15	6	22	20	11	16	9	12	14	8	187
一般	救急件数	519	445	455	357	288	396	255	137	258	320	480	285	234	4,429
	搬送人員	457	400	421	324	275	355	236	125	230	294	431	273	220	4,041
加害	救急件数	13	5	9	7	4	8	5	0	3	3	13	5	2	77
	搬送人員	12	4	5	6	2	6	5	0	2	3	11	4	2	62
自損	救急件数	36	22	22	26	14	19	16	3	15	20	25	11	21	250
	搬送人員	30	16	14	13	11	15	11	4	10	14	16	8	10	172
急病	救急件数	2,275	2,281	2,152	1,632	1,434	2,058	1,220	545	1,251	1,625	2,059	1,359	1,315	21,206
	搬送人員	1,884	1,959	1,890	1,429	1,307	1,788	1,073	476	1,121	1,430	1,767	1,170	1,187	18,481
転院搬送	救急件数	371	249	284	182	182	222	179	59	112	227	227	174	105	2,573
	搬送人員	370	248	281	181	182	220	178	59	112	226	225	173	104	2,559
その他	救急件数	70	39	35	35	34	54	22	13	24	31	48	31	16	452
	搬送人員	1	4	1	1	4	5	3	0	1	4	5	2	0	31

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

活動	隊 別	北 署				浜 北 署		天 竜 署				警防課	小 計	合 計	割 合
		北	曳馬野	三ヶ日	引佐	浜北	赤佐	天竜	春野	佐久間	水窪	本 部			
計	救急件数	1,436	2,869	749	326	2,653	1,970	1,100	282	235	191	664	12,475	43,868	
	搬送件数	1,222	2,494	666	288	2,385	1,740	964	217	200	161	604	10,941	38,305	
	搬送人員	1,230	2,504	670	293	2,395	1,750	969	217	201	161	604	10,994	38,487	
火 災	救急件数	10	7	1	2	6	7	6	0	0	0	1	40	140	0%
	搬送人員	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	6	25	0%
自 然	救急件数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0%
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0%
水 難	救急件数	1	0	1	1	1	0	2	0	2	0	0	8	24	0%
	搬送人員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7	0%
交 通	救急件数	101	177	40	24	162	107	51	7	12	8	45	734	2,530	6%
	搬送人員	86	155	35	23	148	97	47	4	10	6	37	648	2,296	6%
労 災	救急件数	21	18	6	3	26	15	9	0	0	2	9	109	408	1%
	搬送人員	19	17	7	3	25	14	8	0	1	2	8	104	390	1%
運 動	救急件数	13	20	1	2	22	13	8	1	1	1	0	82	276	1%
	搬送人員	13	17	1	0	21	13	9	1	1	1	0	77	264	1%
一 般	救急件数	178	382	156	42	341	278	167	70	26	27	79	1,746	6,175	14%
	搬送人員	152	341	146	42	317	251	147	51	22	24	81	1,574	5,615	15%
加 害	救急件数	1	4	0	0	3	5	1	0	0	0	0	14	91	0%
	搬送人員	0	3	0	0	2	5	0	0	0	0	0	10	72	0%
自 損	救急件数	14	30	6	2	20	8	8	3	1	0	3	95	345	1%
	搬送人員	10	21	4	1	11	8	4	1	1	0	1	62	234	1%
急 病	救急件数	976	1,959	472	229	1,724	1,248	662	185	122	130	391	8,098	29,304	67%
	搬送人員	860	1,731	424	210	1,569	1,104	584	151	114	110	356	7,213	25,694	67%
転院搬送	救急件数	90	218	53	15	289	253	168	11	65	19	123	1,304	3,877	9%
	搬送人員	90	218	53	14	288	253	167	9	49	16	121	1,278	3,837	10%
その他	救急件数	30	54	13	5	59	36	18	5	6	4	13	243	695	2%
	搬送人員	0	1	0	0	11	3	1	0	3	2	0	21	52	0%

(注) 端数処理 (四捨五入) のため、割合の合計は100%にならない場合がある

別表3 救急自動車による事故種別・年齢区分・傷病程度別の搬送人員

(単位:人)

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

区分	事故種別	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計	傷病程度別構成比	参考対比
新生児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.04%
	重篤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	11.8%	
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	9	52.9%	
	軽症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	6	35.3%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	13	3	17		
	(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	0.0%	0.0%	76.5%	17.6%	100.0%	100.0%	
乳幼児	死亡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0.1%	4.45%
	重篤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	8	0.5%	
	中等症	0	0	0	2	0	0	22	0	0	285	67	376	22.0%	
	軽症	0	0	0	37	0	0	267	1	0	1,013	7	1,325	77.4%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	0	0	0	39	0	0	290	1	0	1,305	76	1,711		
	(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	16.9%	0.1%	0.0%	76.3%	4.4%	100.0%	100.0%	
少年	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1%	3.68%
	重篤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	重症	0	0	0	5	0	0	1	0	2	5	4	17	1.2%	
	中等症	2	0	0	27	0	24	23	1	10	129	57	273	19.3%	
	軽症	2	0	0	198	0	169	147	4	10	587	8	1,125	79.4%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	4	0	0	230	0	193	171	5	23	721	69	1,416		
	(構成比)	0.3%	0.0%	0.0%	16.2%	0.0%	13.6%	12.1%	0.4%	1.6%	50.9%	4.9%	100.0%	100.0%	
成人	死亡	0	0	0	4	0	0	1	1	29	66	3	104	1.0%	28.44%
	重篤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	重症	1	0	0	44	7	1	12	0	20	265	38	388	3.5%	
	中等症	5	1	2	213	104	14	181	12	81	2,167	849	3,629	33.2%	
	軽症	6	0	1	1,035	179	46	621	37	41	4,768	91	6,825	62.4%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	12	1	3	1,296	290	61	815	50	171	7,266	981	10,946		
	(構成比)	0.1%	0.0%	0.0%	11.8%	2.6%	0.6%	7.4%	0.5%	1.6%	66.4%	9.0%	100.0%	100.0%	
高齢者	死亡	0	0	1	5	0	0	27	0	9	432	12	486	2.0%	63.39%
	重篤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	重症	3	0	1	42	5	0	100	1	9	1,006	78	1,245	5.1%	
	中等症	3	0	2	183	45	4	2,198	1	15	9,061	2,586	14,098	57.8%	
	軽症	3	0	0	501	50	6	2,013	14	7	5,890	84	8,568	35.1%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	9	0	4	731	100	10	4,338	16	40	16,389	2,760	24,397		
	(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.4%	0.0%	17.8%	0.1%	0.2%	67.2%	11.3%	100.0%	100.0%	
合計	死亡	0	0	1	9	0	0	29	1	39	498	16	593	1.5%	100.00%
	重篤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	重症	4	0	1	91	12	1	113	1	31	1,285	121	1,660	4.3%	
	中等症	10	1	4	425	149	42	2,424	14	106	11,648	3,562	18,385	47.8%	
	軽症	11	0	1	1,771	229	221	3,049	56	58	12,263	190	17,849	46.4%	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	25	1	7	2,296	390	264	5,615	72	234	25,694	3,889	38,487		
	(構成比)	0.1%	0.0%	0.0%	6.0%	1.0%	0.7%	14.6%	0.2%	0.6%	66.8%	10.1%	100.0%	100.0%	

※1 年齢区分

新生児 生後28日未満の者
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 少年 満7歳以上満18歳未満の者
 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者 満65歳以上の者

※3 傷病程度

死亡 初診時において死亡が確認されたもの
 重篤 生命の危険が切迫しているもの
 重症 傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症 傷病の程度が入院加療を要するもので重症に至らないもの
 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの
 その他 医師の診断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの

※2 参考対比

参考対比は、搬送人員／総搬送人員の割合

別表4 隊別救急活動に要する時間及び走行距離

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

隊別	救急件数	搬送件数	搬送人員	区分	覚知～現場		現場活動時間		現場～病院までの時間		収容所要時間		覚知～帰署(所)		
					延 べ	1件平均	延べ(分)	1件平均	延べ(分)	1件平均	延べ(分)	1件平均	延 べ	1件平均	
中消防署	中	3,515	2,944	2,953	時間【分】	34,449	9.80	51,768	17.58	28,594	9.71	112,968	38.37	214,515	61.03
					距離【km】	8,174.1	2.33							32,120.9	9.14
	相生	3,260	2,812	2,823	時間【分】	28,092	8.62	53,254	18.94	27,221	9.68	107,951	38.39	202,160	62.01
					距離【km】	7,411.4	2.27							32,999.1	10.12
	高台	3,174	2,790	2,796	時間【分】	30,727	9.68	48,219	17.28	28,668	10.28	107,562	38.55	208,019	65.54
					距離【km】	7,882.0	2.48							34,753.5	10.95
東消防署	東	2,442	2,129	2,143	時間【分】	22,950	9.40	37,647	17.68	28,682	13.47	89,733	42.15	173,981	71.25
					距離【km】	5,758.1	2.36							31,950.0	13.08
	上石田	2,147	1,947	1,961	時間【分】	24,032	11.19	35,232	18.10	25,977	13.34	86,050	44.20	166,598	77.60
					距離【km】	7,368.6	3.43							34,943.8	16.28
	有玉	3,029	2,610	2,627	時間【分】	31,559	10.42	46,004	17.63	28,145	10.78	104,992	40.23	201,004	66.36
					距離【km】	9,853.1	3.25							40,288.0	13.30
西消防署	西	1,829	1,625	1,632	時間【分】	17,780	9.72	30,440	18.73	31,241	19.23	79,681	49.03	158,718	86.78
					距離【km】	5,597.3	3.06							43,888.1	24.00
	庄内	819	714	717	時間【分】	10,358	12.65	12,501	17.51	14,052	19.68	36,728	51.44	69,965	85.43
					距離【km】	4,597.2	5.61							22,530.0	27.51
	湖東	1,815	1,602	1,615	時間【分】	20,623	11.36	28,204	16.87	22,941	14.32	72,325	45.15	140,299	77.30
					距離【km】	7,356.4	4.05							33,886.6	18.67
大平台	2,409	2,127	2,136	時間【分】	25,051	10.40	35,888	16.87	29,477	13.86	90,358	42.48	167,144	69.38	
				距離【km】	8,836.5	3.67							40,012.0	16.61	
南消防署	南	3,081	2,645	2,657	時間【分】	29,986	9.73	55,291	20.90	31,966	12.09	116,439	44.02	228,425	74.14
					距離【km】	7,746.3	2.51							37,822.2	12.28
	白脇	2,036	1,776	1,784	時間【分】	20,980	10.30	35,627	20.06	24,012	13.52	80,552	45.36	149,640	73.50
					距離【km】	5,485.5	2.69							28,093.4	13.80
	芳川	1,837	1,643	1,649	時間【分】	18,529	10.09	34,902	21.24	25,959	15.80	79,366	48.31	152,685	83.12
					距離【km】	4,840.7	2.64							28,294.3	15.40
小計	31,393	27,364	27,493	時間【分】	315,114	10.04	504,976	18.45	346,935	12.68	1,164,705	42.56	2,233,154	71.14	
				距離【km】	90,907.2	2.90							441,581.9	14.07	

※「現場活動時間」とは、現場到着時間から現場出発時間までに要した時間をいう。

※「収容所要時間」とは、覚知から傷病者を収容医療機関の医師に引継ぐまでに要した時間をいう。

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

隊別	救急件数	搬送件数	搬送人員	区分	覚知～現場		現場活動時間		現場～病院までの時間		収容所要時間		覚知～帰署(所)		
					延べ	1件平均	延べ(分)	1件平均	延べ(分)	1件平均	延べ(分)	1件平均	延べ	1件平均	
北消防署	北	1,436	1,222	1,230	時間【分】	16,567	11.54	22,292	18.24	15,842	12.96	54,600	44.68	108,454	75.53
					距離【km】	5,887.7	4.10							25,165.4	17.52
	曳馬野	2,869	2,494	2,504	時間【分】	29,681	10.35	44,890	18.00	27,948	11.21	102,341	41.03	196,132	68.36
					距離【km】	8,863.7	3.09							37,776.8	13.17
	三ヶ日	749	666	670	時間【分】	7,663	10.23	11,614	17.44	15,902	23.88	35,379	53.12	69,970	93.42
					距離【km】	2,410.9	3.22							26,123.3	34.88
引佐	326	288	293	時間【分】	4,768	14.63	4,584	15.92	6,274	21.78	16,013	55.60	31,657	97.11	
				距離【km】	2,160.6	6.63							10,847.7	33.28	
浜北消防署	浜北	2,653	2,385	2,395	時間【分】	25,827	9.73	40,926	17.16	29,852	12.52	97,418	40.85	181,114	68.27
					距離【km】	8,091.7	3.05							39,873.3	15.03
	赤佐	1,970	1,740	1,750	時間【分】	21,672	11.00	28,877	16.60	26,558	15.26	76,770	44.12	145,994	74.11
					距離【km】	7,114.2	3.61							36,319.3	18.44
天竜消防署	天竜	1,100	964	969	時間【分】	15,304	13.91	16,450	17.06	20,831	21.61	52,084	54.03	101,092	91.90
					距離【km】	5,624.1	5.11							31,392.3	28.54
	春野	282	217	217	時間【分】	4,769	16.91	2,674	12.32	9,059	41.75	15,665	72.19	32,809	116.34
					距離【km】	2,020.3	7.16							14,541.5	51.57
	佐久間	235	200	201	時間【分】	4,380	18.64	2,859	14.29	5,841	29.20	12,708	63.54	23,202	98.73
					距離【km】	1,544.2	6.57							8,662.6	36.86
水窪	191	161	161	時間【分】	2,850	14.92	2,347	14.58	6,198	38.50	10,975	68.17	22,981	120.32	
				距離【km】	872.5	4.57							8,940.3	46.81	
警防課	本部	664	604	604	時間【分】	6,599	9.94	9,578	15.86	5,479	9.07	21,661	35.86	41,571	62.61
					距離【km】	1,674.7	2.52							6,163.5	9.28
小計	12,475	10,941	10,994	時間【分】	140,081	11.23	187,092	17.10	169,785	15.52	495,614	45.30	954,975	76.55	
				距離【km】	46,264.6	3.71							245,806.0	19.70	
合計	43,868	38,305	38,487	時間【分】	455,195.7	10.38	692,068	18.07	516,720	13.49	1,660,319	43.34	3,188,129	72.68	
				距離【km】	137,171.8	3.13							687,387.9	15.67	

※「現場活動時間」とは、現場到着時間から現場出発時間までに要した時間をいう。

※「収容所要時間」とは、覚知から傷病者を収容医療機関の医師に引継ぐまでに要した時間をいう。

別表5 応急手当の普及啓発状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

		実施回数(回)	対象人数(人)
応急救護講習	事業所	112	2,915
	各種団体	39	784
	消防関係	2	76
	自主防関係	69	5,588
	学校関係	47	1,501
	その他(イベント等)	3	50
	計	272	10,914
救命入門コース	事業所	62	1,075
	各種団体	20	487
	消防関係	1	5
	自主防関係	17	292
	学校関係	20	344
	その他(イベント等)	0	0
	計	120	2,203
普通救命講習	事業所	49	890
	各種団体	56	755
	消防関係	9	84
	自主防関係	4	74
	学校関係	136	2,193
	「広報はままつ」公募	91	644
	中学生のための救急蘇生講座	20	463
	その他(イベント等)	2	3
	計	367	5,106
上級救命講習	事業所	1	13
	各種団体	0	0
	消防関係	0	0
	自主防関係	0	0
	学校関係	1	17
	「広報はままつ」公募	9	149
	その他(イベント等)	0	0
	計	11	179
応急手当普及員講習	事業所	0	0
	各種団体	0	0
	消防関係	6	60
	自主防関係	0	0
	学校関係	1	11
	「広報はままつ」公募	4	50
	その他(イベント等)	0	0
	計	11	121
救急関連広報・講話等	事業所	2	25
	各種団体	0	0
	消防関係	0	0
	自主防関係	0	0
	学校関係	0	0
	その他(イベント等)	0	0
	計	2	25
総数	事業所	226	4,918
	各種団体	115	2,026
	消防関係	18	225
	自主防関係	90	5,954
	学校関係	205	4,066
	「広報はままつ」公募	104	843
	中学生のための救急蘇生講座	20	463
	その他(イベント等)	5	53
	計	783	18,548